

**東京海上ホールディングスが RobecoSAM サステナビリティアワード 2018 において  
「ブロンズクラス」に選定されました。**

東京海上ホールディングス株式会社(取締役社長 グループ CEO 永野 毅、以下「当社」)は、世界的なESG(環境、社会、ガバナンス)格付機関であるRobecoSAM社が主催する「RobecoSAM サステナビリティアワード 2018」において、「ブロンズクラス(銅賞)」に選定・表彰されましたので、お知らせいたします。

RobecoSAM サステナビリティアワードは、RobecoSAM社が毎年、世界の大手企業約3,500社を対象に、「経済」「環境」「社会」の3つの側面から企業の持続可能性について評価するための質問書を送付し、回答のあった中からとくに優秀な企業を「ゴールドクラス」「シルバークラス」「ブロンズクラス」として選定・表彰しているものです。

当社は、今後もステークホルダーの皆様とともに、社員の誠実で思いやりのある行動を起点とした全社員参加型の取り組みを通じて様々な社会課題の解決に貢献し、すべての人や社会から信頼される「良い会社“Good Company”」づくりに取り組んでまいります。

<表彰式の模様>



■東京海上グループのCSRの取り組み<サステナビリティレポート2017>  
<http://www.tokiomarinehd.com/sustainability/index.html>

以上